



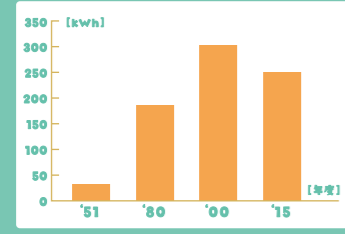
福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力は  
くらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネル  
ギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なる  
べくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。

# 昔と今、暮らしは 電気でどう変わったの?



今、私たちはさまざまな電気製品を使って暮らしています。  
では昔は、どんな暮らしをしていたのでしょうか? 下の絵をみて、昔と今の暮らしを比べてみよう!

▶ 一世帯あたりの電気使用量の推移



電気事業連合会調べ

▶ 日本の全家庭のCO2排出量の推移

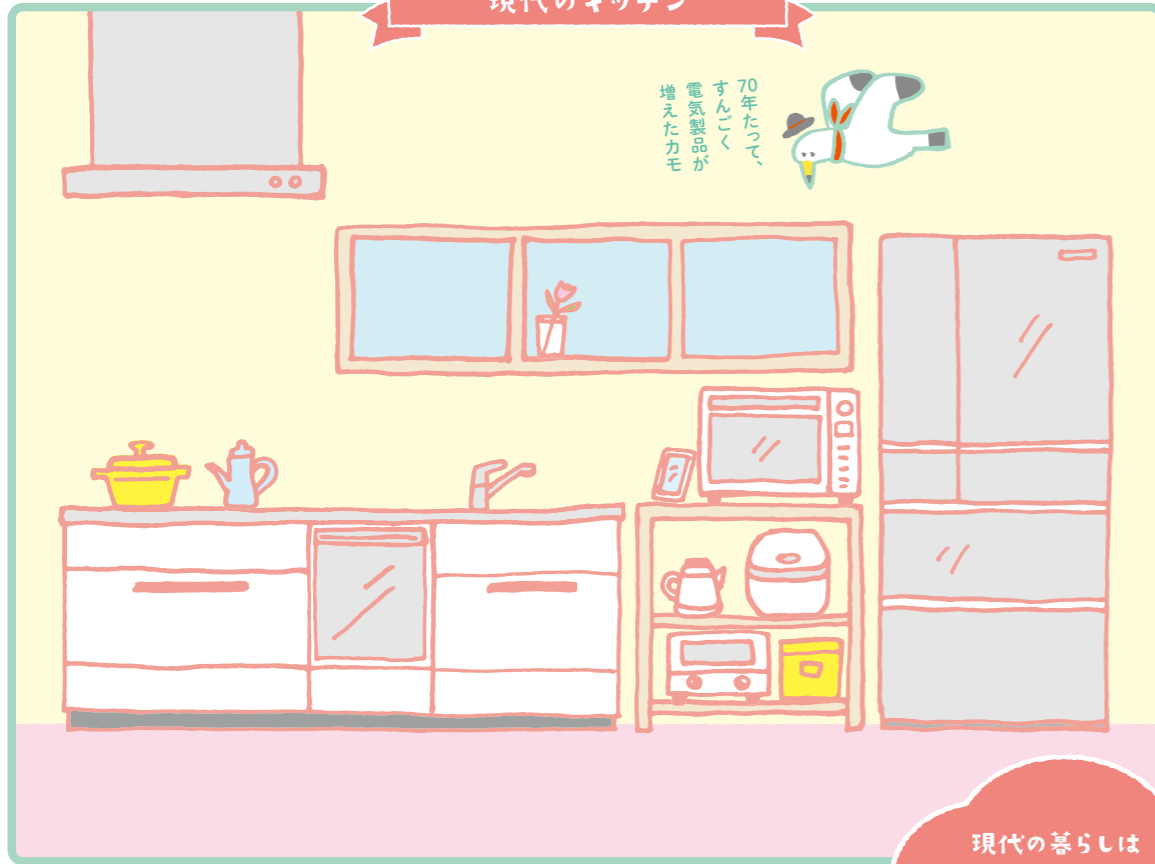


国立環境研究所地球環境研究センター  
温室効果ガスインベントリオフィスを基に作成

電気製品によって  
電気の使用量とCO2  
の排出量が増えて  
いきました。そのため、  
エネルギー消費をおさえた省エネ製品  
の開発が続けられています。例えば、  
冷蔵庫は10年前に比べ43%も電気の  
消費量が減っているんですよ。

電気の使用量は  
どう変わったの?

## 現代のキッチン



70年たつて、  
すんごく  
電気製品が  
増えたカモ



現代の暮らしは  
電気製品のおかげで、  
とても便利!

しんきゅうさん 検索

今や冷蔵庫、炊飯器は当たり前。さらに電子レンジや  
食器洗い乾燥機など多くの電気製品に囲まれ、暮らしは  
ますます便利になっています。今後、電気製品の買換え  
時期には、省エネ製品も検討してみましょう。

省エネ製品の買換えについて、詳しくはこちら→環境省 省エネ製品買換えナビゲーション「しんきゅうさん」

かもしろうの発見!  
これからは電気  
の使い方や電気  
製品選びが大事  
カモ~

まいごのまじろく / ねんごのまじろく

## 1950年ごろのキッチン



ミラエネクイズ!  
昔の冷蔵庫は、  
どうやって食べ物を  
冷やしていたのかな?

1955年ごろに  
自動式電気まぐ炊飯器が  
発売されたよ。

1950年代後半から  
電気冷蔵庫を使う家  
が増えたよ。

1950年代後半は  
どんな暮らしを  
していたのかな?

日本では1950年代後半に、家庭用のさまざまな電気製品が、  
各家庭に広がり始めました。それまでは水を入れた木の冷蔵庫  
で食べ物を冷やしたり、まきを燃やしてかまどでご飯をたいて  
いたんですよ。特に、冷蔵庫・洗濯機・テレビは、三種の神器と  
呼ばれ、生活を大きく変える存在となりました。

この時代、  
家事がとっても  
大変だったカモ~

